奥州

お知らせ版

広報おうしゅう

2012
Vol.78

8

放射性物質の除染のに向けた市の取り組み状況について

本年度は49の公共施設を除染

市は、ことし1月に施行された放射性物質汚染汚染対処特措法に基づいて、市除染実施計画を5月24日付けで策定しました。計画では、24年度と25年度の2年間に、市民の皆さんが多く利用する公共施設などを除染することとしており、24年度は、学校教育施設、保育施設、スポーツ施設、公園、地区センター、病院・

診療所などを除染します。25年度は、文化施設、農林商工関係施設、上下水道関係施設で実施する予定です。

除染施設の選定にあたって、施設ごとの除染場所を決める「詳細調査(予備調査)」を簡易測定器で実施しました。空間線量が高い場所を、精度の高い測定機器で本測定を行い、空間線量率が1時間あたり0・23マイクロシーベルト以上の場所を対象として国や県へ申請し、補助金の交付が決定した施設から除染します。

本年度は、49の公共施設で除染を行います。除染作業で出た汚染土を保管する共同仮置き場については、現在、各自治区での検討会で場所の選定を進めており、秋ごろをめぐりに住民合意が整ったところから設置する予定です。

■問い合わせ
本庁危機管理課
原発放射線対策室(内線255)

■公共施設の調査結果(24年8月8日現在)

市内の調査対象施設	880施設
本年度調査対象施設 ※全ての施設で詳細調査を実施済み	367施設
調査の結果、除染基準を超えた施設	144施設
校庭など面的に基準を超えた施設	19施設
本測定実施後に除染が確定した施設	49施設

■主な除染作業内容

除染対象	作業項目	内容
学校教育施設、保育関係施設、公園、スポーツ施設	建屋の洗浄	●雨どいなどの清掃、洗浄、汚泥の除去
	アスファルトなどの除染	●ブラシ洗浄、高圧洗浄 ●側溝などの清掃、洗浄、汚泥の除去
	表土除去および現場保管・客土	●庭などにおける表土の除去 ●客土・圧密による現状回復
	表土入れ替えおよび現場保管	●庭などにおける表土の上下層の入れ替え ●現場保管の際の残土による現状回復
	土地表面の被覆	●汚染されていない土などによる被覆
病院・診療所、地区センター、文化施設、その他の公共施設など	建屋の洗浄	●雨どいなどの清掃、洗浄、汚泥の除去
	アスファルトなどの除染	●側溝などの清掃、洗浄、汚泥の除去